

2020年7月30日

各 位

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
 代表者 代表取締役社長 数原滋彦
 (コード番号 7976 東証一部)
 問合せ先責任者 上席執行役員財務担当 長谷川直人
 (TEL. 03-3458-6215)
<https://www.mpuni.co.jp>

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月30日開催の取締役会において、以下のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、2020年4月23日に公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日~2020年12月31日)の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日~2020年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 63,500	百万円 8,000	百万円 8,500	百万円 5,500	円 銭 97.97
今回修正予想(B)	53,000	4,000	4,300	2,800	49.86
増減額(B-A)	△10,500	△4,000	△4,200	△2,700	
増減率(%)	△16.5	△50.0	△49.4	△49.1	
(参考)前期連結実績 (2019年12月期)	62,034	7,202	7,580	4,436	77.84

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動への制限により、当社の主力製品である筆記具を始めとする各種製品の需要が低迷していることから、第2四半期までの業績は低調に推移いたしました。第1四半期(2020年1月~3月)の連結売上高は前年比89.7%、連結営業利益は前年比72.5%に対し、第2四半期(2020年4月~6月)の連結売上高は前年比75.7%、連結営業利益は前年比17.7%と、第2四半期の業績は特に厳しい状況となりました。第3四半期以降においても、需要回復の見通しが立たない状況が続くことが予想され、売上高の減少に伴う生産調整などの対応も必要となるため、利益面で多大なる業績への影響が見込まれます。これらの状況を踏まえ、上記のとおり連結業績予想を修正いたしました。

(※)上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上